

平成 28 年 4 月 6 日

各 位

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー
代表者 代表取締役社長 伊藤 雅文
(コード番号 6255)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 廣澤 一夫
(TEL 03-6240-1206)

第 2 四半期業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 10 月 7 日に公表しました平成 28 年 8 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 1 月 8 日に公表した平成 28 年 8 月期通期業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異

平成 28 年 8 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,017	百万円 △219	百万円 △323	百万円 △234	円 銭 △10.64
実績値(B)	687	△301	△350	△259	△11.78
増減額(B-A)	△330	△82	△27	△25	
増減率(%)	△32.4	-	-	-	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 8 月期第 2 四半期)	6,302	451	379	523	23.74

平成 28 年 8 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異(平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 999	百万円 △232	百万円 △336	百万円 △243	円 銭 △11.03
実績値(B)	659	△301	△356	△262	△11.89
増減額(B-A)	△340	△69	△20	△19	
増減率(%)	△34.0	-	-	-	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 8 月期第 2 四半期)	6,253	410	348	493	22.37

業績予想と実績値との差異の理由

売上高につきましては、太陽電池製造装置の一部案件に期ズレが発生したことや、受注の遅れに伴いパネル検査サービスの売上高が未達となったこと等で、発表していた業績予想を下回ることとなりました。

利益につきましても、売上高が減少したことに伴い、発表していた業績予想を下回りました。なお、当第 2 四半期累計期間に、営業外収益「関係会社整理損失引当金の戻入」43 百万円が発生したため、経常利益以降の

減少幅は縮小しております。

なお、連結業績及び個別業績とも同一の理由によるものであります。

2. 通期業績予想の修正

平成 28 年 8 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,701	284	228	305	13.87
今回修正予想(B)	5,225	158	92	175	7.98
増減額(B-A)	△476	△126	△136	△130	
増減率(%)	△8.3	△44.3	△59.6	△42.6	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 8 月期)	9,349	519	422	561	25.47

平成 28 年 8 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,659	266	215	306	13.88
今回修正予想(B)	5,191	158	95	187	8.48
増減額(B-A)	△468	△108	△120	△119	
増減率(%)	△8.3	△40.6	△55.8	△38.9	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 8 月期)	9,245	428	352	513	23.27

修正の理由

売上高につきましては、装置関連事業における大型ライン案件の売上計上や、受託加工事業における新規取引先との取引開始が予定されていることで、今期業績は下期偏重となる見方に変更はございません。

しかしながら、受託加工の商談を進めていた新規取引先候補 2 社のうち、1 社は当第 4 四半期から生産開始しますが、もう 1 社とは商談が長期化してしまっており、今期業績に織り込むことが難しくなりました。それに伴い、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

利益につきましても、上述のとおり売上高が減少する見込みとなったことで、発表していた業績予想を下回る見込みとなりました。

なお、連結業績及び個別業績とも同一の理由によるものであります。

(注) 上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上